



## 第73回岩手芸術祭

# 映像フェスティバル

2020.11/8 [sun]

[2回上映]

① 11:00～ (開場10:40)

② 14:00～ (開場13:40)

※14時の回のみ 2作品上映終了後、トークセッションあり

もりおか町家物語館 浜藤ホール

【上映作品】

「どこかに美しい村はないか」～幻想の村遠野・児玉房子ガラス絵の世界より～ 監督:能勢 広 (60分)

「マルカン大食堂の贈り物」 監督:柴田啓佑 (40分)

遠野市・花巻市

岩手県内で撮影された映画

二作品を二本立て上映!



児玉房子ガラス絵 「りんごの花」

ドキュメンタリー映画

## 「どこかに美しい村はないか」

～幻想の村遠野・児玉房子ガラス絵の世界より～

監督 能勢 広

遠野

劇映画

## 「マルカン大食堂の贈り物」

監督 柴田 啓佑

花巻



主催:岩手県/岩手県文化振興事業団/岩手県芸術文化協会/岩手日报社/IBC岩手放送  
/テレビ岩手/めんこいテレビ/岩手朝日テレビ/エフエム岩手

後援:盛岡市 NHK盛岡放送局 盛岡タイムス社 胆江日日新聞社 岩手日日新聞社

協賛:第35回国民文化祭・みやぎ2020協賛事業

運営:第73回岩手芸術祭実行委員会・いわて映像サロン 運営協力:NPO法人いわてアートサポートセンター

【ご来場のお客様へお願い】

ご入場の際はマスクの着用・手指消毒をお願いいたします。  
会場入口で検温を行い、37.5度以上の熱がある方は  
ご入場をお断りする場合がございますのでご了承ください。



## 第73回岩手芸術祭 映像フェスティバル

2020.11/8 sun

[1回目] 11:00 start

[2回目] 14:00 start ※上映後、トークセッションあり

※開始30分前より受付開始、20分前より開場

※各回とも ①「どこかに美しい村はないか」

②「マルカン大食堂の贈り物」の順に2本立てで上映します。

会場

もりおか町家物語館 浜藤ホール  
岩手県盛岡市鉈屋町10-8 ※鉈屋町ユニバース隣  
TEL 019-654-2911

料金

一般 前売 1,000円 当日 1,200円  
大学生以下 前売 800円 当日 1,000円

<14時の回のみ>

遠野で撮影されたドキュメンタリー映画

「どこかに美しい村はないか」

花巻で撮影された短編映画「マルカン大食堂の贈り物」

監督と映画関係者によるトークセッション!

Talk Session

「地域と共に映画をつくる」

「どこかに美しい村はないか」 監督:能勢 広  
プロデューサー:田下 啓子

「マルカン大食堂の贈り物」 監督:柴田 啓佑  
原作者:北山 公路

トークセッション進行:千葉 真一 (映像カメラマン)

ドキュメンタリー映画「どこかに美しい村はないか」～幻想の村遠野・児玉房子ガラス絵の世界より～ (60分)



今、大きく時代が変わりAI時代へ入ろうとしている。  
高度のテクノロジー社会の中で、人間の幸福とは何か、失ってはならないものは何かを問う。映画は、児玉房子のガラス絵と伝統や手仕事の世界、遠野の美しい田園と夜のさそり塚と、田植する婆っちゃん達をリンクさせ、遠野の四季を綴る。リンゴを自然栽培する農夫ののどかさ、そして米作りの若い夫婦は、未来のためにも婆っちゃん達から学ぼうとする。そこにある昔からの暮らしの中、巻末では茨木のり子の詩が、どこかにある美しい村と人と人の力を謳う。

監督 能勢 広 hiroschi nose

1969年(昭和44年)7月7日生まれ 神奈川県相模原市出身  
日本映画撮影監督協会(J.S.C)所属  
記録映像撮影、企業のPRビデオ、ライブ撮影、自身の企画として文化記録映画やドキュメンタリー映画の撮影と制作  
代表的な作品:短編記録映画「ギフトショウと生きる郷」  
「広島原爆 魂の撮影メモ 映画カメラマン鈴木喜代治の記した広島」、長編記録映画「流 ながれ」等。

プロデューサー 田下 啓子 keiko taori

1947年(昭和22年)4月26日生まれ  
福岡県北九州市出身  
国立音楽大学声楽科卒  
作家、プロデューサー  
映画「真鱈の風」プロデュース  
著作「原色の女-もうひとつの智恵子抄」  
「拜啓 宮澤賢治様」

劇映画「マルカン大食堂の贈り物」 (40分)



40年以上も変わらない場所とメニューで花巻市民に愛されたマルカンドパートの閉店が2016年発表された。幼い頃からの思い出が詰まった大食堂存続を求めて高校生たちが署名活動を始めて全国的に話題となる。若手企業家がクラウドファンディングや寄付を集めて、10ヶ月後に経営を引き継いで大食堂の営業を再開。その裏には様々な人たちが、それぞれの想いを抱えてそのムーブメントを支えていた。本作はその人たちの中から、このことをきっかけとして新たな道歩き始めたシングルマザーの女性デザイナーの物語。

監督 柴田 啓佑 keisuke shibata

静岡県生まれ 日本映画学校(現:日本映画大学)卒業  
『ひとますすすめ』(2014)が、第8回 田辺・弁慶映画祭にてグランプリをはじめ、映画祭史上初の4冠を達成。翌年2015年にテアトル新宿にて劇場公開を果たす。『あいが、そいで、こい』(ENBUゼミナール製作)、『鳴 風太郎!!』(主演:市原隼人 他)が2019年に劇場公開となる。他にもテレビ東京ドラマ「ゲキカラドウ」の演出も務めている。

原作 北山 公路 koji kitayama

1960年 岩手県花巻市生まれ 同市在住  
出版プロデューサー、編集者  
全国出版の書籍や雑誌のプロデュース、編集に関わりつつ、地元花巻のシティプロモーションにも携わる。マルカン大食堂存続プロジェクト「マルカン思い出写真集」(上町家守舎)製作に事業・編集担当として参画。「マルカン大食堂の奇跡」(双葉社)執筆。日本ペンクラブ会員。

撮影 千葉 真一 shinichi chiba

岩手県盛岡市出身 日本映画撮影監督協会(J.S.C)所属  
フリー撮影助手を経て、86年カメラマンとして独立。92年アメリカの映画学校 WORKSHOP'Sにて Steadicamの技術を修得。主な作品は小栗旬監督映画『シュアリー サムデイ』ほか、平井堅、福山雅治、Mr.チルドレンなどミュージックPVの撮影も多数手がける。近年では「アーツいわて塾 映像制作講座」講師を務めるほか、市民参加映画「蛾と笹舟」の撮影などにも関わる。

予約・問合せ

いわてアートサポートセンター  
TEL:019-656-8145(平日10時~18時)  
Mail:info@iwate-arts.jp

予約フォームからのご予約はこちら→  
電話・メールのご予約は、ご希望回、お名前、枚数、電話番号をお知らせください。

